

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

養鶏編

なかなか梅雨明けの発表なく、毎日ジメジメと涼しい日が続いています。涼しい日が続く中、晴れて急に暑くなると熱射病等が発生しやすくなります。

適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。



○鶏舎の環境改善

- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、日光による気温上昇を抑える。
- 屋根にパイプ・スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 畜舎周りの下草刈りや片付けをして、風通しを良くする。

○鶏への暑熱対策

- 扇風機・ダクトの清掃・整備を行い、換気の改善を行う。
(羽についた埃や蜘蛛の巣を取り除くと、風量が回復！)
- 湿度の低い日は、細霧装置で散水する。
- 早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。
- 不足しがちなビタミン、ミネラルを給与する。
- 適正な飼養密度を守り、体熱の放散を促進させる。
- 飲水装置の末端を開放するなどし、水温を低く保つ。
- 健康観察を徹底し、異状の早期発見に努める。

**暑熱の影響により家きんの死亡率が上昇した場合でも、
万一の鳥インフルエンザの発見や発生拡大を防ぐために、
家畜保健衛生所で状況の確認をしますので、
必ず家畜保健衛生所までご連絡をお願いします！！**



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728

土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817